

施設関係者評価の教育参観

木の川認定こども園 第2回 令和5年12月15日

令和6年度の研究開発学校の指定に向けて、施設関係者の教育参観（年2回）を実施し、関係者からの評価指導を行き、改善を重ねて教育の質の向上を得ること目的として「施設関係者評価の教育参観」を開催いたします。また小学校接続の取り組みとして、こども園の活動を参観していただき、小学校に進学予定の子どもたちの状態を把握していただくことを趣旨とします。

※文部科学省の研究開発学校とは「現行教育課程の基準によらない教育課程を編成・実施して研究開発を行い、先進的な研究開発課題を具体的に設定して、将来の学習指導要領の改訂に資する実証的な資料を得ることを目的とするものです。

9:20	9:30	10:00	10:10	10:40	11:00
受付	教育参観 5才児ぞう組	質疑応答 移動	英語教育参観 4才児くま組	参観に関する discussion	

教育指導計画

施設関係者 教育参観の 趣旨・目的	木の川認定こども園では、能力開発研究の武蔵野大学准教授浦谷裕樹氏（生体医工学博士）の指導のもと、EQWEL チャイルドアカデミー(https://www.eqwel.jp)と、しちだ教育研究所(https://www.shichida.co.jp)の教材等を用いて「右脳を成長を促す幼児教育」と「英語教育」に力を入れ、幼児期に備わる非認知能力を育み、子どもの無限の可能性を引き出す教育を提供することを園の目的とし、通園する児童の基礎学力を培うことで、地域の学力の向上を目指し、幼児期より英語に触れ合い学び続けることで、英語に慣れて、小学校の英語の義務教育の準備をいたします。また、「幼児期の終わりまでに育て欲しい10の姿」に基づき、日々の活動（※ P.3）を通じ、優しい心を育み、明るく、個性を伸ばすための保育と幼児教育を大切にしております。
園児の成長への ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学びたいという気持ちを育む。 ・学ぶことの楽しさを知る。 ・「できた！覚えた！」という達成感を得る。 ・「できない、分からない」という思い、もどかしさや悔しさを経験しても、それを乗り越えて、成長してほしい、という思いも大切にしています。

幼児教育 指導計画

趣旨	園内で絵本の朗読、暗唱、フラッシュカードやパズルなどを利用した、充実した幼児教育を行うことは、多くの言葉に触れることになり、語彙力が増え、表現力が豊かになると考えている。園児に無理なく学び、楽しく学んでいくこと環境を提供します。また、フラッシュカードを含めた幼児期の暗唱は、記憶をする脳の回路をより太く強くすることを目的とし、物事をすばやく覚える習慣を育みます。	
時間	実施内容	目的・趣旨
午前 9 時 30～10 時 15 分まで 5 才児ぞう組 園児数 15 人 担任 西 真美		
10分	おはよう 「サンタクロースの歌」 「ひとりじゃないさ」	園児全員の前に出て、発言する力を養い、季節の歌や親しみのある歌を楽しみながら歌う。
5分	幼児の暗唱 「竹取物語」	様々な文章に触れ、繰り返し覚えることで記憶し、朗読する力を育む。暗唱は大きな声でハッキリと行うことで、滑舌が良くなるようになる。物事の覚えることができるようになる。
5分	数字変換 100 ワード (21～50 まで)	「数字変換 100 ワード」は「フック法」を用いた記憶法です。お話し法と違い、フック法は、沢山のものを覚えたり、数字と連動したり順番があるものを覚えることに適した記憶法です。フック法は学ぶ習慣を身に付き、物事を記憶することが容易になると考えられています。
5分	かけざんカード (3 の段～8 の段)	音源のリズムに合わせて、楽しくかけ算を学ぶ。100 玉そろばんを使用して数の概念を身に付け、小学校入学までに九九を無理なく覚える。
5分	四字熟語カード	四字熟語を学ぶことで、よりの確かつ鮮やかな表現ができるようになり、言葉の力を最大限に引き出して、豊かな表現力を育む。
5分	歴史人物カード (日本・世界)	日本や世界の歴史上で著名な人物に触れ、知識を増やし、歴史に対する興味を育む。
5分	国旗カード (60 枚)	子どもたちが楽しく各国の国旗を学び世界各国の興味を持つようになる。色や形を識別する能力を育む。
園児休憩		活動についてのご説明・質疑応答
10分	ひらがなの練習 (ワークの取組)	日々のワークの取組を通じて、子どもが様々な文字に対して関心を持つようになる。読み書きの練習をすることで、集中力を養い、鉛筆の持ち方や筆圧など力のコントロールを覚えるようになる。

英語教育 指導計画

趣旨

幼児期より、外国語である英語を毎日少しずつ（耳にする。inputする。使ったり、話したり、歌ったりする）、自然に触れることで、日本語と同じように身に付けて、日常生活で自然に使える言語となるように身に付ける。また英語使って遊ぶことで、英語を話す（使う）事への苦手意識の軽減を得ることを目的とする。日常生活の中にあたり前にある言語となるよう、英語の時間以外でも、英語講師と会話や触れ合う際には、率先して英語を使い、園児から英語についての質問に答えていく。たとえば子どもたちから「これは英語で何と言うの？」と質問されたり、絵本や歌を歌ってなどの要望にも、率先して応じて、子どもたちの英語に対する興味を引き伸ばすように心がける。

午前 10 時 15～10 時 45 分まで 4才児くま組 園児数 14 人 英語講師 辻 かすみ

時間	実施内容	目的・趣旨
5分	Greeting 挨拶	毎日のルーティーン その日の気持ちを英語で表現する。相手にも聞き返す。その日の日付、天気、曜日を英語で言う。
10分	カードをフラッシュする そのカードを使って質問する	園児の興味のあるカードを使い、早くフラッシュする事で、集中力を高め、脳を活性化させ、input力を高める。フラッシュした単語を使い、各園児に質問し答えてもらう。 色々な文法の質問 Do you like～？ Do you want～？ Do you have～？ verbs cards（動詞カードを使って質問する） What am I doing？（～していますか？） 例 ～ing（～している）一答え方を身に付ける。
10分	TPR Total physical Response 全身反応教授法	赤ちゃんが母国語を身につけていく過程を外国語学習に応用した教授法。 動作をしながら、外国語を習得していく。 先生の声かけを聞き、園児が体で声かけに合った動きを表現する。
5分	英語の絵本の 読み聞かせ	英語絵本の読み聞かせを行っている。本日は英語の絵本「It's okay to be different」の読み聞かせを行う。日々の英語教育活動の中で、英語絵本の読み聞かせは、基礎的な英語表現を学び、読み聞かせを通して、音素の発音、弱形、音声変化、強勢、リズム、イントネーションなどの英語の音声を体得するのに優れており、リーディング能力の基礎となる音読力を高めるのに効果的であると考えられている。

「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿」の学習に
繋がる遊びや活動とねらい

主な活動	ねらい
お散歩	様々な季節に園外に出ることで、五感で季節を感じたり発見をする。約束事や交通ルールを身につける。
カレンダー制作	1年を通して翌月のカレンダー製作をする。日付けを書くことで数字を覚えたり書き方を覚え、記念日や行事等を意識して過ごす。毎月その月に合った折り紙製作を通して、折り方の手順を守ったり指先の器用さや集中力を養う。また、形の変化に興味を持ち、図形への理解を深める。
夏野菜を育てる	買い物を体験し、自分達で選んだ苗を育てる。野菜の生育を観察したり、絵に描くことで野菜や食べ物への興味関心を持つ。育てたものを食べたりクッキングをすることで食育に繋げる。水やり当番など、責任を持ってやり遂げる。
泥んこ遊び	手や裸足で泥の感触を味わったり、解放感を味わう。感覚、想像力、友達とのコミュニケーションなど社会性を育てる。場所によって土の違いに気付いたり、水を混ぜる配分によって土の緩さや感触が変わることを体験する。砂場で山を作りトンネルを作ったり、水を流して川をすることで、扇状地や三角州ができる不思議さに気付いたり発見したりする。
廃材遊び	様々な素材に触れ、素材の特性を感じ、イメージを持って工夫したり試行錯誤しながら作り上げる力をつける。また、形や大きさを考えながら組み立てることで空間認知力を養う。
どんぐり貯金	秋ならではの自然に触れ、木の種類によって大きさや形の違いに気付く。どんぐりの数を数えることで、数に興味や関心を持ち数がわかる楽しさを知る。数唱したり、数の概念を育む。
お店屋さんごっこ	品物に適した素材を選んだり、商品の数を考えながら、友達と話し合い協力して作り上げる体験をする。自分達で値段を決めたり、小さい子ども達がわかりやすいようにレイアウトしたり、異年齢の存在を感じながら一定期間継続して活動に取り組む。売り手と買い手両方を体験しながらやりとりを楽しみ、社会生活に繋げていく。

木の川認定こども園 教育参観・施設関係者評価アンケート

★幼児教育で良かったところはございますか？

(参加者 A) 語彙力をつけることは学力向上に繋がるものと考えます。それ故に色々な言葉に触れる取組は意義あるものであると思います。フック法(数字変換 100 ワード)については、興味深い活動でした。カードと百玉そろばんを有効的に活用していて良かったです。子どもたちが文字に対して興味を持っていることが感じられました。

(参加者 B) 教室環境が工夫されていて良かったです。園児の描いた絵がのびのびした表現で描かれていました。先生の指示・段取りなど効果的だと思いました。また声のトーンや落ち着いたリズムのある指導で良かったです。子どもたちが笑顔で活動していたのがみていて嬉しかったです。

(参加者 C) 朝のあいさつや1つ1つの行動に目的を持って取り組んでいる事が分かりました。子ども達が無理なく学んでいるところが良いです。

(参加者 D) 指導の先生のピアノが始まるとすぐに子どもたちが揃って歌い出すなど、普段から丁寧に子どもたちに教えている印象を受けました。カードでかけ算をスラスラ答えるのはすごいです。国旗カードでランダムでも答えられるのがすごいです。

★幼児教育で指摘・改善すべきところはございますか？

(参加者 A) 子どもたちは全体的に集中して取り組めていたと思いますが、少しずつ唱え方を変化していくことで、さらにどの子も意欲的に取り組めるようになるのでは、と感じました。前で先生が文字をなぞって見せる際は、拡大したものを使用して見せても良いと思いました。

(参加者 B) 可能であれば、ピアノの設置場所を園児の顔を見ながら引けるところに変更しても良いかもしれません。フラッシュカードではほぼ全員が集中していて良かったです。いくつかのカードでは指導者の場所を変え、園児を少し動かせば、より効果が上がるように感じました。小学校でも導入している電子黒板があれば、文字指導で効果的だと思います。

(参加者 C) 小学校での授業、勉強が簡単になりすぎて授業を軽んじてしまわないか心配。九九を覚えたら、11×11、12×12、など20×20まで覚えると中学、高校まで使えて便利になります。

(参加者 D) 私には、歴史人物(特に日本)の人たちが同じ人に見えますが、子どもたちはそれが、区別できて答えれていたことに驚きました。(参加者 E) 声を出せない子どもや、答えられない子どもにもアンテナを張って見たほうが良い。ひらがなの指導の仕方は改善したほうが良いところがある。教え方に工夫をしたほうが良い。

★英語教育で良かったところはございますか？

(参加者 A) 指導者の感情・話し方が子どもたちに安心感を与えていました。フラッシュカードによってリズム感良く学ぶことができていました。単語だけでなく、質問して答えるという形は良かったです。読み聞かせは英語力の向上に大きく寄与するものだと思います。TPR(先生が指示したことについて、身体で反応して答える活動)興味深い活動でした。活動する年令、時期にもよると思いますが、指導者が英語を言ったり、読んだりした後、すぐに日本語でその意味を伝えてしまうことで、英語より日本語での説明に耳を傾けてしまう時もあると思いました。

(参加者 B) 園児が間違いを恥ずかしがらずに発言していました。普段の指導と安心できる環境づくりが良いのだと思いました。園児の発音がすばらしかったです。日本語にない子音がきれいに聞こ

えました。

(参加者 C) この頃から英語に接していると違和感なく、耳に入るので良いと思います。

(参加者 D) 先生が積極的に声をかけて動作を加えているので、子どもたちもしっかり参加している印象でした。カードなどイラストでも分かりやすく伝えていて良かったです。動作や食べ物を英語で教えるところは、子どもたちも反応が良いようでした。

(参加者 E) 子どもたちが自分の生活からくる(英語のことばを)発言を出している。

★英語教育で指摘・改善すべきところはございますか？

(参加者 A) 活動する年齢、時期にもよりますが、指導者が英語を言ったり、読んだりした後、すぐに日本語でその意味を伝えてしまうことで、英語より日本語での説明に耳を傾けてしまう時もあると思いました。

(参加者 B) 電子黒板があれば、より視覚的にネイティブの音声も聞けると思いました。Verbs カード面白かったです。動詞を園児の動きで表現させても良いと思いました。

(参加者 C) 他の言語も取り入れてもいいかも。

(参加者 D) 良いところばかりで思いつきませんが、あえて絵本の内容が「多様性」の言葉に偏りすぎているように感じました。(参加者 E) 7 (なな) 10 (じゅう) と言っている子どもがいて(気になった)カードをとっている子が「これを言ったらいい?」と言った言葉に、先生に答えたことは、意図があるのか?子どもたちが、自分の生活からくる(授業とは関係ない)発言について話している時の対応が気になった。

★ご感想、ご質問などございましたら、ご自由に記入してください。

(参加者 B) 防音環境が整えられていてとても落ち着いた教室でした。先生達の普段の研修努力がうかがうことが出来ました。ご苦労様です。質の高い教育をされているなと感心いたしました。

(参加者 C) こども園でこれだけの事をして頂けたら、勉強系の習い事に行かさなくてもいいので、家で助かると思います。

(参加者 D) 子どもたちが楽しく、学ぶ習慣があり、知識が増える教育内容でとても感心しました。